

## Content

02 活動実績(2022年12月~2023年3月)

06 活動計画(2023年4月~6月)



# 活動実績(2022年12月~2023年3月)

12月

- 4日 地域美化活動 鹿深夢の森(地域環境部)
- 7日 地域振興部 会議
- 8日 運営委員会 会議
- 12日 スマイル甲賀大原っ子(子ども食堂)  
防災プロジェクト 会議
- 16日 大原子育てサロン(地域教育部)
- 20日 地域環境部会 会議

01月

- 8日 地域美化活動 鹿深夢の森(地域環境部)
- 10日 まちづくり勉強会 これからのコミュニティについて(運営委員会)
- 12日 運営委員会 会議
- 16日 防災プロジェクト 会議
- 20日 大原子育てサロン(地域教育部)
- 27日 LINE講習会(本部)

02月

- 2日 運営委員会 会議
- 5日 地域美化活動 鹿深夢の森(地域環境部)
- 7日 まちづくり勉強会 できることもちよりワークショップ(運営委員会)
- 13日 防災プロジェクト 会議
- 14日 やまの健康プロジェクト 会議  
まちづくり勉強会 シェアリングコミュニティ「じっじか」について(運営委員会)
- 17日 大原協働まちづくり 第2回支え合い円卓会議(運営委員会)  
大原子育てサロン(地域教育部)
- 21日 地域環境部会 会議
- 22日 地域振興部会 会議:観光マップ(油日・佐山との協働事業)
- 23日 防災研修会in京都市市民防災センター(防災プロジェクト)
- 24日 地域教育部会 会議
- 26日 花いっぱい事業(本部事業)

03月

- 1日 臨時役員会
- 3日 大原小学校(協働事業)  
卒業記念植樹  
創立150周年記念樹  
卒業記念木工制作  
4年生シイタケの種菌体験
- 5日 地域美化活動 鹿深夢の森(地域環境部)
- 9日 運営委員会 会議
- 12日 バリアフリーマルシェ(本部事業)
- 17日 大原子育てサロン(地域教育部)
- 18日 まちづくり会議(運営委員会)
- 23日 飛び出し忍者看板納品(本部事業)

毎週火曜日:eこころステーション甲賀:食支援(協働事業)

## 03.03 大原小学校第128回卒業記念植樹

3月3日、明治29年3月から続いている128回目の大原小学校6年生卒業記念植樹を、大原共有山財産区、大原小学校PTA役員、自治振興会が協働で応援してきました。

大原には「百年先を生きるために今日を生きる」という教訓が伝えられています。ふるさとの山を守り、ふるさを潤すために、将来を見据えた大原学区の人々の知恵と力の結集から生まれた言葉です。

今年の卒業生34名が150本の苗木を一本一本丁寧に植えました。

この植樹した苗が材木として使用できるほどのものになるには60年から80年かかります。

今年植樹した児童が後期高齢者くらいの時期にやっと伐採できるのです。木の成長も人間の寿命と同じくらいの時間が必要なのです。



上段：植樹場所  
下段左：苗木  
下段右：苗植え穴掘り器

## 03.03 大原小学校創立150周年の記念樹in校庭

6年生は山での植樹後学校に戻り、創立150周年の記念樹の植樹を同校校庭で行いました。これを、大原共有山財産区、大原小学校PTA役員、自治振興会が協働で応援してきました。児童は参加者の応援のもとヤマボウシ、サツキ、ロウバイ、ムラサキシキブ、キリシマツツジなど50本の苗木を、丁寧に植えました。

校長は「これから何年も何十年も四季折々の花を咲かせ、みんなの学校生活に彩りを与えてくれる」と児童に呼びかけました。



## 03.03 大原小学校卒業記念木工制作

植樹後、3月3日の午後からは、卒業の木工制作としてつくってきたヒノキ宝箱づくりの最終工程を行いました。

これは身近な地元木材を使って、木の良さや森林の大切さを再認識してもらい、大原産材利用の意識や森林資源についても学んでもらうことを目的としたもので、大原小学校、甲賀愛林クラブ、自治振興会の協働の応援で行いました。

モノづくりの楽しさ、木の良さや応援団の温かさにつれたかと思っています。



## 03.03 大原小学校4年生シイタケの種菌体験

3月3日、大原小学校4年生シイタケの種菌体験を、甲賀木の駅、自治振興会と協働で支援してきました。

児童らは甲賀木の駅の大原氏からシイタケや原木について講話を聞きました。大原のやまからとれたクヌギ、コナラの原木に、電動ドリルで穴を開ける作業を体験。続いて、金づちでトントンと軽快な音を響かせながら、原木に種駒を打ち込みました。

種駒を打ち込んだ原木は、日光の当たらない校舍裏に運びました。児童が各々6年生になる年の秋に収穫時期を迎えます。

大原の山の幸を感じてくれればと思っています。



## 02.14 やまの健康プロジェクト会議

2月14日、2022年度 第3回里山円卓会議に開催しました。会議の目的は、「やまの健康」推進事業の下半期の進捗状況の報告と3カ年の取組評価の共有でした。

滋賀県では、住民自らが地域の周辺環境や地域に必要な暮らしの基盤等を振り返って見つめ直し、農地や森林等の維持保全の方法や、地域経済の活性化につながる地域資源などについて検討することにより、中山間地域の活性化を図ることを目的として、「やまの健康」推進事業を実施しています。



円卓会議のメンバーは、コーディネーターは株式会社ファルテ森林技術経営研究所、会議メンバーは、大原自治振興会（地域環境部、運営委員会など）、甲賀市大原共有林財産区、甲賀木の駅運営委員会、甲賀愛林クラブ、森林組合、SATO YAMA+、県市の担当課です。

大原地域では自治振興会が主体となり、2020年度モデル地域に採択され、2021年度、2022年度と次の4つの取組を行いました。

- ① やまの境界を明確する取組は、モデル地区である大久保10ha、樺野18haにおいて、合意形成会議、現地確認を行い境界確定ができました。他地区にも展開できるように手順書の作成も行いました。
- ② やまを見直すきっかけづくりでは、木製品の製作・設置、森林へのガイド冊子を作成をしました。
- ③ やまと楽しみながらつながる取組では、樺野川砂防ダム湖周辺での「山でつながる一日」の開催やチェアリングを行いました。にこにこ園の園児を対象に、周辺の里山での散策を行いました。
- ④ やまの恵みを循環させる取組では、甲賀木の駅が間伐の継続、薪生産の拡大及び生産拠点の充実をしました。年間40tの薪を生産して、循環する体制が構築できました。

3年間の事業がもうすぐ終了します。でも山とひと、ひととひとのつながりは続きます。

## 02.17 支え合い円卓会議(運営委員会)

2月17日は、甲賀地域ご近所福祉協会、大原自治振興会の共催で、第2回支え合い円卓会議を行いました。

第1回の支え合い円卓会議では、大原地域を含む甲賀町エリアの生活弱者等への応援活動を行う8団体が一同に集まり、協働活動を一層推進するために、各々で現在どのような活動を行い、どのような課題を持っているかを明確にして、現状を共有しました。

今回は、第1回で課題として共有した「1)活動・情報を知ってもらう、2)ボランティアの仲間を増やす、3)ご近所での支え合い活動(近助)をはじめ」のために自分たちでできることの見える化を目的としました。

課題ごとに班を3つ作り、ワークショップ形成で課題を解決するための取組を話し合いました。

どの課題も解決するための一押しの取組は、日常的な会話や声掛け、気遣いなどで、いわゆる支援の専門家しかできないことなく、誰でも今すぐで始められることでした。

この結果を整理して、次のアクションを開始していきたいと思えます。



## 02.26 花いっぱい事業(本部事業)

大原市場の住民有志らでつくる団体「21世紀の会」(会長岩崎延幸)は2月26日、甲賀駅前の花壇の植え変えをしました。

花の苗づくりは甲南高校、苗の手配は自治振興会という3団体協働のまちづくり活動です。



## 03.12 バリアフリーマルシェ(本部事業)

バリアフリーマルシェを、3月12日かふか夢の森で開催しました。ヒューマン鹿深、こうかマルシェ実行委員会、自治振興会との協働事業です。



## 03.18 まちづくり会議(運営委員会)

コロナ禍でここ3年開催していなかったまちづくり会議を、3月18日に開催しました。

大原地域での協働まちづくりを加速化するために、大原自治振興会の部会・PJ及び協働する関係団体が一同に集まり、各々で2022年度どのような活動を行ってきたか紹介する3分プレゼンテーションをして現状を共有したあと、大原自治振興会を進化するためにできること、しなければならないことについて意見交換を行いました。

この会議のために作成した活動調査票から2022年度事業報告書を作成して、意見は運営委員会でアクションへの転換を検討していきます。リアルな対話ができました。



## 03.23 飛び出し忍者看板納品(本部事業)

3月26日に飛び出し忍者 安全標識が納品されました。

飛び出し忍者は、児童が道路に飛び出して自動車などと接触する事故を防止する目的で、ドライバーへの注意喚起のために、通学路などに設置されている看板のことです。



## 03. 観光マップ(地域振興部会)

2022年度の地域振興部会では、甲賀地区の観光促進のため、大原・油日・佐山の3自治振興会が協働して観光マップを作成しました。



# 活動計画（2023年4月～6月）

- 4月
- 2日 地域美化活動 鹿深夢の森(地域環境部)
  - 4日 まちづくり勉強会 甲賀ナイスローカルカンパニー(運営委員会)
  - 13日 運営委員会 会議
  - 19日 専門部会 合同会議
  - 21日 大原子育てサロン(地域教育部)
  - 22日 区長説明会
  - 24日 子ども食堂(スマイル甲賀大原っ子)

- 5月
- 2日 まちづくり勉強会 eこころステーション甲賀(運営委員会)
  - 7日 地域美化活動 鹿深夢の森(地域環境部)
  - 11日 運営委員会 会議
  - 12日 役員会
  - 19日 大原子育てサロン(地域教育部)
  - 20日 総会
  - 29日 子ども食堂(スマイル甲賀大原っ子)

- 6月
- 4日 地域美化活動 鹿深夢の森(地域環境部)
  - 6日 まちづくり勉強会 (運営委員会)
  - 7日 大原協働まちづくり 第1回健康円卓会議(運営委員会)
  - 8日 運営委員会 会議
  - 10日 大原子育てサロン(地域教育部)
  - 26日 子ども食堂(スマイル甲賀大原っ子)

毎週火曜日:食支援(eこころステーション甲賀)

毎週月曜日16:00～18:00、

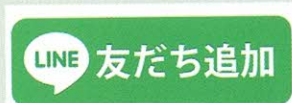
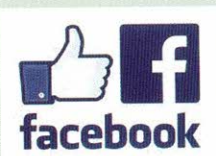
毎週土曜日13:30～15:30:学習支援(スマイル甲賀大原っ子 寺子屋)

※ スマイル甲賀の活動対象者:甲賀地域の全小中学生



## facebook、LINE、YouTubeへの登録のお願い

大原自治振興会のfacebook、LINE、YouTubeへの登録をお願いします。



発行・問合せ：大原自治振興会  
〒520-3435 甲賀市甲賀町相模173-1  
TEL&FAX:0748-88-3111  
e-mail : ohara10ku@gmail.com  
編集：大原自治振興会 広報プロジェクト  
発行月：2023年4月

### 【編集後記】

2023年3月13日以降、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となりました。2023年度は自治振興会の活動も「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」へ転換していきます。